

教育厚生委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎篠永 誠司 ○吉原 敦 横内 博之 杉浦 良子 ◎委員長
飛鷹 裕輔 ○谷内 開 谷 國光 ○副委員長

●議案第 65 号 令和 3 年度四国中央市一般会計補正予算（第 11 号）〔所管分〕

質問 福祉避難所機能強化・整備促進事業について、これは新たに福祉避難所を設けるということなのか。それとも、既存避難所の整備をするのか。

答弁 今回整備するのは、新規施設として高齢者分野 4 カ所、障がい者分野 4 カ所の計 8 カ所、既存施設の 4 カ所である。新規施設については、備蓄食料を中心とした備品なども購入予定である。既存施設については、更新期限の短い粉ミルクなどについて更新したいと考えている。

●議案第 73 号 公の施設の指定管理者の指定について

質問 コナミスポーツ・四国ダイケングループとなった過程並びに指定管理料が増額した要因を説明いただきたい。

答弁 経緯・経過については、指定管理選定委員会が 6 月と 9 月に開催されており、第 1 回の委員会では、指定管理選考要綱と業務仕様書の 2 つの資料を基に審査を行った。第 2 回については、これまでの管理状況、今後の計画、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取り組み状況などについて、プレゼンテーション、ヒアリングを行い選定することとなっている。

指定管理料については、利用料金制度を採用しており、基本的に収入が増えれば反比例して、指定管理料が減るということになっている。現在はコロナ禍で収入が大幅に減額しているため、その分を差し引いて、前回より 7,249 万 6,000 円上回っている。

産業建設委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎吉田善三郎 ○眞鍋 幹雄 茨木 淳志 三浦 克彦 ◎委員長
石川 剛 ○山川 和孝 曾我部 清 ○副委員長

●議案第 63 号 四国中央市コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例について

質問 江之元のコミュニティ住宅の目的と戸数を伺う。

答弁 目的は、江之元再開発事業により、移転せざるを得なくなった方の入居であり、条例第 3 条に定められているものである。戸数については、第 1 コミュニティ住宅がアパート形式の 2 階建てで、8 世帯入居できるものである。第 2 コミュニティ住宅は、2 戸が 1 棟の建物で、今回の E 棟により 5 棟完成することになるため、2 戸が 5 棟で 10 世帯入居できるものとなっている。

●議案第 65 号 令和 3 年度四国中央市一般会計補正予算（第 11 号）〔所管分〕

質問 土木費の道路維持費のうち、重機借上料の場所はどこになるか伺う。

答弁 道路維持費の重機借上料と原材料の場所は、主に山間部の市道で除雪など応急対応のための経費だが、今年は既に予算が不足しており、例年 12 月から 3 月までの実績額を追加計上しているものである。

質問 中小企業振興資金利子補給金については、新型コロナウイルス感染症対策としての利子補給であるのか。また、申請件数について伺う。

答弁 本事業は、令和 2 年度に実施した県の新型コロナウイルス感染症対策資金もしくは、市の中小企業経営安定化資金の融資を受けた方に対する利子補給であり、新型コロナウイルス感染症対策のものである。件数は合計 1,202 件である。

令和3年第4回四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第75号	令和3年度四国中央市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第76号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
認定第1号	令和2年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	令和2年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市工業用水道事業会計決算及び四国中央市公共下水道事業会計決算の認定について	認定
選挙第1号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	指名推選
意見書第2号	ライドシェアの導入に反対し、安心・安全なタクシー事業の推進を求める意見書について	原案可決
3年 請願第1号	米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離と生活困窮者への食料支援を求める請願	継続審査
3年 陳情第3号	ライドシェアの導入に反対し、安心・安全なタクシー事業の推進を求める意見書提出を求める陳情	採択
3年 陳情第4号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情書	継続審査
3年 陳情第2号	加齢性難聴者のための補聴器購入費助成制度の実施を求める陳情	継続審査

総務市民委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
 ※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎川上 賢孝 ○山本 照男 猪川 護 眞鍋 利憲 ◎委員長
 三好 平 三宅 繁博 井川 剛 原田 泰樹 ○副委員長

●議案第65号 令和3年度四国中央市一般会計補正予算(第11号)〔所管分〕

質問 高度無線環境整備推進事業について、補正予算で増額後に減額し、結果的に当初予算を含め3回の予算計上した経緯と今後のタイムスケジュールを伺う。

答弁 当初予算編成時における工事費の参考見積概算では、光ファイバーの総延長を240キロメートルとしていた。その後の基本設計において、空き家などしかないところも含め最大限で積算したものを補正予算にて増額したが、本年7月に発注した実施設計において、人口減少などを加味し積算し直した結果、総延長が減少したため、12月補正予算にて減額補正を行った。今後のスケジュールとしては、12月3日付で入札公告をかけており、令和4年1月に開札、令和5年3月完成予定としている。

質問 土居文化会館改修事業と川之江文化センター整備事業の内容を伺う。併せて、土居文化会館改修事業と川之江文化センター改修事業が債務負担行為で翌年以降にわたる理由を伺う。

答弁 土居文化会館2階大会議室の空調6基全てを交換するものである。川之江文化センターは、ホール上部に当たる2階屋上の防水などの工事を行う。

土居文化会館及び川之江文化センター共に、工期が4か月ほどかかることを考慮し、債務負担行為を設定している。

◆ 9月議会での市長答弁に異議あり

質問 感染拡大期にあった本年9月に開催された本会議で、新型コロナワクチン接種率県下最下位の指摘を受け、市長が発した「それがどしたんな」という発言は、危機管理意識の欠如であり、一日千秋の思いでワクチン接種を待ち望んでいる市民のことを考えれば、到底あり得ない発言だが、見解を問う。



谷 國光議員



答弁 副市長

本市の新型コロナワクチンの接種は、4月以降優先順位に従って高齢者から順次進めてきた。65歳以上の高齢者については、7月までに9割を超える方が接種し、8月からは全ての年代の方を対象としたが、国からのワクチン供給が減少したことなどにより、予約枠を一時的に制限したため、接種率の伸びが鈍り県下最下位となった。

確かに、9月議会中の接種率は低いものであったが、市内医療機関の協力により、9月から10月にかけての予約枠は、国が目標とした1日100万回接種の本市相当分を上回る枠を設定していただき、接種済と予約済を合わせると対象者の75%を超えていた。更に10月以降には、集団接種も予定しており、接種率は順調に伸びるものと見込んでいた。

指摘のあった言い回しについては、会議録の前後から本市の接種状況について「特段の心配はしていない」という趣旨のものであると理解いただけると考える。

その他の質問 ○学力テスト（全国学力・学習状況調査）について

令和3年第4回四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第61号	四国中央市保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第62号	四国中央市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第63号	四国中央市コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第64号	令和3年度四国中央市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
議案第65号	令和3年度四国中央市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案第66号	令和3年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第67号	令和3年度四国中央市西部臨海土地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第68号	令和3年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第69号	令和3年度四国中央市城山下臨海土地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第70号	愛媛県市町総合事務組合理約の変更について	原案可決
議案第71号	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について	原案可決
議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第74号	市道路線の一部廃止について	原案可決

◆子宮頸がん予防ワクチンの接種について

質問 8年前から積極的な接種の呼びかけを中止していた子宮頸がんワクチンの接種であるが、厚生労働省は安全性や有効性を示すデータが見受けられることから、令和3年11月より接種呼びかけを再開した。本市での接種状況及びこれからの取り組みを問う。



杉浦 良子議員

**答弁** 市長、副市長

子宮頸がん予防のためのワクチンは、平成25年4月から予防接種法に基づく定期接種に位置付けられ、12歳から16歳までを対象として公費による助成が受けられるようになった。本市の接種率は、平成25年度には4.7%であったが、それ以降は積極的勧奨を見合わせてきた影響もあり、平成30年度までは毎年1%未満となっていた。

このような状況を受けて、厚生労働省から制度周知に関する通知があり、対象者へワクチンの定期接種に関する情報提供として、市からの案内文書と同省のリーフレットを送付した。その結果、令和2年度の接種率は6.1%、今年度は8.8%となり対象者1,475名のうち130名が接種を行っている状況である。本市は、令和3年11月26日付けの厚生労働省通知により、積極的勧奨を再開することとなり、令和4年4月から対象者または保護者に対し、予診票の個別送付などの方法により勧奨を行うと共に、ワクチン接種について検討・判断するために必要な情報提供を行っていく。

その他の質問 ○コロナ禍の女性支援のために寄贈された生理用品の配布について

◆不法投棄許さない、農地法違反を正し、生活と農業経営環境を守れ

質問 土居町上水道の地下水源の源流にあたる自然豊かな北野地区であるが、現状は農地が農地として適正に利用されず『コンクリート塊を含む土石』を埋め立て、他地権者の往来妨害をしている。地権者の告訴に、警察・保健所立ち合いのもとで掘り起こしが始まる中、農業委員会の対応とそのほかの事例があるか質す。



飛鷹 裕輔議員

**答弁** 農業委員会会長

当該農地については、「経営規模拡大のため、梅を栽培する」という内容で農地法第3条の申請があり、農業委員会総会において審議され、「農地を農地として所有権移転する」ことが許可された案件である。その後、近隣より当該農地の一部に石などが投棄されているとの連絡があり、農業委員、事務局職員が現地へ行き確認した。再度、土地所有者及び会長を含む農業委員などの関係者で現地確認し、土地所有者に対し当該地を農地として適正に管理するよう指導し、農業委員が定期的に現地確認を行っている。

今後は、違反転用の指導権限を有する県とも協議し、違反転用事案と認定されれば、県に対応を求めていきたいと考える。

そのほかの同様事案は、ここ数年の通報はなかったが、今後は農地パトロールの強化を農業委員会総会に諮り、早期発見に努めたいと考える。

その他の質問 ○人口減少・高齢社会の中でのまちづくりについて
○飼い主のいない猫とどう共生を図っていくか

◆今回の工事入札事件の再発防止を求める

質問 二名漁港海岸保全改良工事の入札に係る3点の改善を指摘すると共に、裁判の公判の注視と結審の検証のうえ、入札事件の再発防止策の内容及び分科会での分析の内容の経過と結果について、詳しくわかりやすい説明を求める。



三好 平議員

**答弁** 管理課長

財務部長を分科会長として、入札制度再検討分科会を組織しており、令和3年8月17日に第1回分科会を開催して以来、これまで5回開催し、再発防止策について協議を行ってきた。

分科会での取り組み状況としては、発注事務に係る職員アンケートを令和3年8月18日から9月3日までの間で実施し、官製談合防止法に対する理解度や発注関係書類の保管方法などの取り扱い、利害関係者との対応などについて調査したところである。

また、入札契約事務の遂行上での情報漏えいリスクの洗い出しや、職員アンケートの分析結果に基づく入札契約関係要綱などの見直しや、事務対応マニュアルなどの策定も順次進めており、今後、職員への周知を兼ねた研修会を開催する予定である。

今現在は、分科会としての報告書の作成を進めており、親会である再発防止策検討委員会へ報告書を提出し、審議のうえで機関決定を経て、議員への報告と再発防止策について公表していく予定としている。

その他の質問 ○自治体・住民犠牲のデジタル化を見直し、よりよい社会を目指すべき
○高校卒業までの医療費完全無料化の実施について
○住宅リフォーム補助事業の更なる充実について

◆ノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎博士に名誉市民の称号を贈られてはどうか

質問 ノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎博士の偉業を市としてどのように評価し、祝意を表してきたか。また、本市をノーベル物理学賞受賞者生誕のまちとしてどのようにアピールするか。真鍋博士に名誉市民の称号を贈られてはどうか。



吉田善三郎議員



答弁 市長、副市長

祝意を表するために、お祝いのメッセージを在籍するプリンストン大学を介してお送りした後、お祝いの懸垂幕を市民交流棟や新宮地域の公共施設などに設置した。

更に、市庁舎にてパネル展を開催し、真鍋博士に関する資料や写真、記念講演の映像などを展示している。また、12月6日の授賞式に合わせたお祝いの打ち上げ花火や7日にアメリカのワシントンで行われた授賞式については、地元である新宮町の霧の森にてパブリックビューイングを実施し、新宮の方々とお祝いを盛大にお祝いした。

ノーベル物理学賞受賞者生誕のまちとしての今後のアピールについては、真鍋博士が生まれ育った新宮町の知名度を今以上にアピールできるよう新宮町のみなさんの意見も聞きながら、鋭意取り組んでいきたいと考える。

名誉市民の称号については、真鍋博士の偉業は十分にこの顕彰に値するものであることに余地はないが、市としていまだ制定に至っておらず、合併後20年の記念も控えていることから、今後は、周りの意見をよく聞きながら進めていきたいと考える。

その他の質問 ○四国中央市組織機構について

◆児童を交通事故から守るために

質問 通学路における児童・生徒を交通事故から守るために、通学路の合同点検がされているが、本市はどのように実施しているのか。また、合同点検を踏まえて、どのような対応をしているのか。自分の命は自分で守る観点から、交通安全指導内容について問う。



真鍋利憲議員



答弁 市長、教育長、教育指導部長

通学路安全プログラムを設け、全ての小学校区の一斉合同点検を隔年で実施し、それ以外の年でも、学校の申請により随時合同点検を実施している。合同点検の手順としては、まず学校からの報告、各関係機関の担当者による事前協議、現地の点検と対策の検討、そして効果の把握と更なる改善を図ることとしている。具体的な対応状況について検証した後、対策箇所一覧表として市のホームページで一般公開している。

令和3年度は、一斉合同点検を実施しており、各小学校から報告のあった市内31カ所について関係機関による点検を実施し、対応が必要とされた24カ所について対策を検討し、可能な箇所から各機関が対応している。対応事例としては、学校が行う見守り支援や、児童生徒への安全教育、警察の交通規制による標識、道路標示の設置、道路管理者が行うグリーンベルトのカラー舗装など、ハード、ソフト両面での対策を行っている。

交通安全指導内容については、保健体育や道徳、特別活動、また登下校を含む学校生活全般を通じて、日々指導を行い、特に長期休業前には、学年集会、全校集会においても指導している。また、警察や交通安全協会と連携し、小中学生に対して毎年1学期に交通安全教室を実施し、命を守る交通安全指導に努めている。

◆本市の広報体制、広報戦略の在り方について

質問 ワクチン接種に関する情報やごみ収集日の変更などの情報が市民に行き渡っていない現状に対して、SNSやケーブルテレビの活用、市広報紙の改善について問う。また、伊予灘ものがたりで実践されている地元特産品を宣伝する仕掛けを参考に、本市でもシティプロモーション戦略を推し進めるべきであると考えが、見解を問う。



猪川 護議員



答弁 副市長、総務部長

市民に市政情報を発信するために、市広報紙、市ホームページなどに加え、LINEの登録者の増加に向け、鋭意取り組んできた結果、登録者が現在8,000人を超えるまで増加しており、重要な広報媒体として注目している。しかし、必要な情報をタイムリーに発信することについては、その必要性を十分認識しているが、いまだ改善すべき点も残っている。LINEについては、年齢・性別・希望する情報などを組み合わせ、その人に合った情報のみをプッシュ配信する仕組みづくりを検討しているところである。今後も、市民にタイムリーな情報発信ができる広報媒体の更なる活用を進め、喜んでいただける広報を目指していきたい。

シティプロモーション戦略については、市の統一した方針を策定しておらず、各部署において、事業の目的に応じた広報・宣伝活動を行っている。本市の魅力を広く情報発信することは今後も注力すべき課題と認識しており、プロモーションの効果的方策などについて研究していきたいと考える。

その他の質問 ○エコシティ、コンパクトシティ実現に向けた都市構想の必要性について
○本市が抱える空き家問題と対策について

◆国民健康保険料について

質問 国民健康保険が県広域化することとなった経緯及び目的について問う。
また、保険料の賦課方式を所得割・資産割・均等割・平等割からなる4方式から3方式（4方式から資産割を除く）へ切り替えることについて問う。



三宅 繁博議員

**答弁** 副市長、国保医療課長

広域化の経緯と目的であるが、国民健康保険は加入者の高齢化率が高く医療費水準が高いにも関わらず、所得水準が低く財政運営が不安定であるという構造上の問題を抱えていることから、これを持続可能なものとし、国民健康保険の安定的な運営を行っていくために広域化されたものである。

本市の国民健康保険の賦課方式は、所得割・資産割・均等割・平等割による4方式を採用しているが、資産割については、固定資産税との二重の負担感があることなどの問題も指摘されている。また、将来的な県内保険料率の統一への妨げとなる可能性があることから、現在3方式への移行について試算などを行っているところである。

その他の質問 ○農地施策について
○耕作放棄地などについて
○鳥獣害対策について

◆県立新居浜特別支援学校みしま分校入学などの動向を問う

質問 みしま分校が4月に開校され、1年近く経つが、その認知と共に内容などの理解も深まってきたようである。そのうえで、入学希望や転入学希望などの来年度の動向を伺う。
また、隣接する三島小学校との関わりやインクルーシブ教育の現状を伺う。



吉原 敦議員

**答弁** 教育長、教育指導部長

現在、市教育委員会が入学・転学を希望する保護者に最終的意思確認を行っているため、来年度の分校への入学などの予定人数は確定していないが、入学者だけでなく、市内の小学校から転学を検討する方も多く、一定の入学者や転学者が見込まれている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、多岐にわたる制限があり、両校で打ち合わせを行い、慎重に交流を図ってきた。例えば、4月に予定していた両校の対面式を6月に延期し、三島小学校の児童から分校の児童へ歓迎のメダルをプレゼントし、交流がスタートした。また、三島小学校以外の小中学校との交流も始まっている。

三島小学校については、これまでインクルーシブ教育の理念に基づいた教育活動を行っており、今後、市内の小中学校にも広がり、「障がいのある人もない人も相互にコミュニケーションを図り、交流の機会を拡充し、連携し、協力して、相互理解の促進に取り組む」という理念が、更に促進されるよう努めていきたいと考える。

その他の質問 ○令和3年度成人式の開催について ○防災における相互支援の体制について問う
○弱者支援の手段としてのヘルプマーク普及について問う

◆今後のデマンドタクシーについて

質問 デマンドタクシーには「ジャンボタクシーで行けないご自宅には指定場所まで来てもらう」という規定がある。しかし、今後更に進む高齢化や免許返納に対応するためには、現行のセダンタイプを活用し運用の変更をするべきではないか。



茨木 淳志議員

**答弁** 副市長

デマンドタクシーの主な利用目的は通院と買い物で、利用者の年齢は全体の4分の3以上が75歳以上となっており、今後も高齢者の健康維持や生活に必要な移動手段として、重要な役割を果たしていくものと思われる。

運行については、可能な限り自宅近くから目的地までの、ドア・ツー・ドアの送迎が基本ではあるが、乗り合い運行に対応するため、基本的に10人乗りの大きな車両が採用されていることから、車両の乗り入れや旋回ができない場合は、近くの集合場所まで徒歩で来ていただき、送迎を行っている。

しかし、川之江エリアではセダンタイプの車両も採用しており、今回の要望については、運行事業者などと協議したうえで年内をめどに、できる範囲での運用にて対応したいと考える。今後も市民の皆さまのさまざまな意見について、調査・分析を継続し、本市の公共交通網の維持と利便性の向上に努めたいと考える。

その他の質問 ○ひとり親家庭になっても安心して暮らせる四国中央市へ

一般質問

令和3年第4回 四国中央市議会定例会

◆小型太陽光発電設備の強風対策、独自の条例制定について

質問 小型の太陽光発電設備に関する市町村独自の条例が、昨年4月までに全国で149件制定されている。本市でも、やまじ風の強風でパネルが飛散するなどの事故が発生している。住民の安心・安全を守るために強風対策の条例制定を求める。



山川和孝議員



答弁 市長

太陽光発電設備の諸問題に対する解決策として、独自の条例を制定し、規制などを行う動きがいくつかの自治体で見受けられる。その内容としては、強風対策や排水対策などの施工基準、設置区域の規制や、周辺住民の同意などの条件、設置に対する市の同意や許可の権限などの議論にも及んでいる。条例制定の留意点として、規制などが憲法に基づく財産権や営業の自由の不可侵に関わるため、規制や条件などの適法性や妥当性について、十分な検証が必要となる。条例制定は、現状では諸課題があるものの、市民の暮らしの安全を守るために、さまざまな観点から検討しなければならないし、そういう時期に入っていると認識している。国の動向などを注視しながら、本市のできる範囲のルール整備について研究してみたいと考える。

その他の質問 ○新型コロナウイルス感染症について
○保育士や福祉関係などの待遇改善について

◆支え合う社会「地域共生社会」について

質問 子ども食堂は高齢者や障がいを含む、地域住民の交流拠点に発展する可能性があり、地域共生社会に向けて、大きな役割を果たすことが期待されている。運営に当たり、市としての支援が必要と考えるが、具体的な支援について伺う。



三浦克彦議員



答弁 市長

本市では、川之江地域で1団体、三島地域で2団体が毎月1回子ども食堂を開催しており、利用人数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現在では1日50名程度になっているが、イベント開催月は100名を超えて利用のある団体もある。

本市の支援として、子ども食堂のチラシの配布や設置、市民などから寄付の申し出があった場合の団体への取り次ぎなどを行っている。

議員指摘のとおり、子ども食堂は子どもへの食事提供や孤食の解消にとどまらず、地域住民のコミュニティの場としても大きな役割を果たしており、今後さまざまな方の交流の拠点として期待されている。本市としても、その重要性は十分に認識している。

今後は、子ども食堂の運営上の課題である運営費や備品不足を補うことができるような補助金などの支援について、関係機関と十分協議し検討していきたい。

その他の質問 ○子育て・教育について伺う

◆小中学生の防災学習について

質問 新宮小中学校、川滝小学校、寒川小学校、豊岡小学校、三島西中学校などが、ハザードマップ上で土砂災害の警戒区域になっている。すぐそばまで警戒区域が迫っている学校も多いが、子どもたちの命を守るためにどのような防災学習を実施しているのかを問う。



横内博之議員



答弁 教育長

土砂災害防止法が平成29年度に改正された際に、小学校や医療施設、福祉施設などの「要配慮者利用施設」では、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務付けられている。このことにより、土砂災害警戒区域にある小中学校は、土石流を想定した避難確保計画を策定し、実際に避難訓練を行っている。

ある学校では、県土木部と連携し、洪水や土砂災害に対して、適切に対応するための基礎知識習得を目的とした砂防学習会を開催している。他の学校においても、防災教育年間指導計画に基づき、地域実情に応じて防災教育と避難訓練を行っている。

「防災まち歩き」という学習では、災害発生の恐れがある箇所を地域の方と訪ね歩き、地域防災マップの作成と配布を行っている。また「防災について考える参観日」では、保護者と防災について考える機会を持つなど、地域と家庭と連携した取り組みも行っている。今後も小中学校における防災学習について、質の高い取り組みを目指していきたいと考える。

その他の質問 ○キャリア教育の推進について ○移住者に向けた施策について

常任・特別・議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務市民委員会



◎川上 賢孝
○山本 照男
猪川 三好 原田 泰樹
井川 剛 三宅 繁博
眞鍋 利憲

教育厚生委員会



◎篠永 誠司
○吉原 敦
杉浦 良子 谷 國光
飛鷹 裕輔 横内 博之

産業建設委員会



◎吉田善三郎
○眞鍋 幹雄
三浦 克彦 山川 和孝
曾我部 清 石川 剛
茨木 淳志

議会選出監査委員



三宅 繁博 議員

議会運営委員会

◎眞鍋 幹雄
○吉田善三郎
山川 和孝
三宅 繁博
川上 賢孝
山本 照男
原田 泰樹

議会改革調査特別委員会

◎山川 和孝
○眞鍋 幹雄
横内 博之
飛鷹 裕輔
石川 剛
谷内 開
谷 國光

地域医療対策特別委員会

◎山本 照男
○篠永 誠司
茨木 淳志
杉浦 良子
眞鍋 利憲
川上 賢孝
原田 泰樹

公共交通調査特別委員会

◎吉原 敦
○吉田善三郎
猪川 護
三浦 克彦
三好 平
三宅 繁博
曾我部 清

議会だより編集委員会

◎石川 剛
○吉原 敦
横内 博之
茨木 淳志
飛鷹 裕輔

スタッフ急募
PRIÈRE
時給1,200円(研修時は1,000円)
勤務時間 3時間~5時間(お葬式のある日)
◆週1日だけ勤務も大歓迎。
◆土・日・祝日・長期休暇(夏・冬休みなど)のみ出勤大歓迎。
□仕事内容
式場ホール案内やカード記憶案内・斎場でのお茶・コーヒーのお給仕など
まずはお電話ください。
アリエール三島
(0896)24-5600(きうら)

新鮮!元気!JAうま農産物直販所
ジャジャうま市 おいでや市 ふれあい市
9時~16時(定休日:なし) 中之庄町1684-4 Tel:23-3377
9時~16時(定休日:火曜日) 妻鳥町1121 Tel:59-6001
9時~13時(定休日:火曜日) 金生町下分2550-2 Tel:58-3953

ドア・窓リフォーム
断熱 リフレッシュ
今ある窓に ガンタン後付け「インプラス」内窓
遮熱 シェード
断熱 ドア入替え
LIXIL FC マドリエ西園中央
サトーヨー 株式会社 サトーヨー住器(株)
お問い合わせは 0120-62-1128
四国中央市妻鳥町1180-1

令和3年第1回四国中央市議会臨時会

※令和3年第1回四国中央市議会臨時会は12月1日に開催されました

正副議長選挙に係る所信表明

四国中央市議会では、議会基本条例により、議長及び副議長選挙において、議長または副議長を志願する者が、議会運営に係る所信及び抱負を表明する機会として、所信表明を行っています。

届け出順に議長選挙に係る所信表明を三好平議員、井川剛議員、川上賢孝議員の3名、副議長選挙に係る所信表明を石川剛議員、飛鷹裕輔議員の2名が行いました。

臨時会において議長・副議長が選出されました



議長
井川 剛

議長の略歴

昭和44年7月25日生（52歳）

四国中央市議6期目

副議長

監査委員

議会改革調査特別委員会委員長

などを歴任



副議長
石川 剛

副議長の略歴

昭和45年8月10日生（51歳）

四国中央市議3期目

産業建設委員会委員長

議会運営委員会副委員長

などを歴任

議長・副議長就任挨拶

このたび、令和3年12月1日の臨時会におきまして、四国中央市議会議長・副議長の要職に就任いたしました。

身に余る光栄に存じますと共に、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式が求められ、社会情勢は大きく変化しております。今後は、変容した社会に対応し、ウィズコロナ・ポストコロナの時代にふさわしい取り組みを推進していくことが重要になってまいります。

市議会といたしましても、地方自治体の意思を決定する議決機関であることの役割を果たしつつ、適切な施策が実現できるよう行政側と連携し、最大限の努力を重ねてまいります。

結びに、市民の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三島川之江インターから
三宮・大阪へ 1日9往復

京都・名古屋
松山・高知・徳島へ

※新型コロナウイルスの影響により一部減便して運行しています。

ジェイアール四国バス

住みなれた地域で、にこやかに幸せな生活を。

住宅型有料老人ホーム
ココロココ四国中央

住宅型有料老人ホーム
ココロココ三島

■ココロココ四国中央■ ☎(0896)24-7581
四国中央市下柏町661-1

■ココロココ三島■ ☎(0896)24-2300
四国中央市下柏町1087-1

ココロココ 検索

小林愛実
ピアノ・リサイタル

14:00 開演
[全席指定] 大ホール
一般 4,000円
(会員 3,500円)
大学生以下 2,000円

2022年
3/12(土)

ハイスタッフホール (JR観音寺駅から徒歩3分)
<https://kanon-kaikan.jp/> TEL 0875-23-3939

市議会

だより

2022. 2. 1 NO. 71

「 森と湖畔の公園の春 」

令和3年第4回定例会は、去る12月7日から12月24日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会には、市長提出議案など18件、選挙1件、意見書1件、請願1件、陳情3件が上程されました。

※36ページから27ページまでが議会だよりとなっています

主な内容

- ①議長・副議長就任挨拶など・・・P35～P34
- ②一般質問・・・・・・・・・・・・・・P33～P29
- ③議決結果一覧・・・・・・・・・・・・・・P29～P28
- ④委員会の審査概要・・・・・・・・・・・・P28～P27

水田法律事務所

愛媛弁護士会所属 弁護士水田大輔
まずはお気軽にお電話を

☎(0896) 22-4003

四国中央市川之江町1856-35
三木ビル3階



交通事故・相続
不動産の問題・離婚
債務整理
その他民事一般



ひとつひとつの想いをカタチにする

新築・リフォーム・不動産

日新ハウジング

☎24-1010



ヘアカット専門 カットコムズ

カット&簡単フロー 1,100円税込

※両替はしておりません。1,100円のご用意をお願いします!

フジグラン川之江 専門店棟
くすりのレディさん並び